

## 【 第3回中標津町まちづくり町民会議報告 】

日時：平成22年1月27日（水）19：05～21：10

場所：中標津総合文化会館（しるべつと） 1階 展示室

出席者：25名（中標津まちづくり町民会議委員17名、ファシリテーター1名（東田）  
コンサルタント1名（株ぎょうせい）、事務局6名）

### <会議次第>

- 1 開 会
- 2 挨拶：杉本会長
- 3 議 題<進行：東田ファシリテーター>
  - (1) 第6期中標津町総合発展計画策定のための将来人口推計結果について
  - (2) グループワーク「まちの目指す姿（キャッチコピー）」
  - (3) その他
- 4 閉 会

### <配布資料>

- 15分でわかる中標津町の人口問題（P.4に掲載）
- 北海道新聞記事（P.5に掲載）
- 第6期中標津町総合発展計画策定のための将来人口推計結果（別途掲載）
- 前回グループワーク「理想の町は」の意見集約（P.6～P.10に掲載）

---

### <会議結果報告>

[第3回会議風景]

- 1 開会
- 2 挨拶：杉本会長



- 3 議題<進行：東田ファシリテーター>
  - (1) 第6期中標津町総合発展計画策定のための将来人口推計結果について  
事務局より説明 [配布資料（P.4～P.5及び](#) [）](#)

### <説明内容>

配布資料（  ～  ）に基づき、国勢調査人口と住民基本台帳人口の違いや現在の人口状況などについて、説明が行なわれました。

【人口状況】: 中標津町における人口の推移は、いずれの調査でも増加傾向にあり減少傾向にある周辺市町村、また全国、全道と比較しても人口の伸び率は非常に高い伸び率を示しています。しかしながら、昨年12月末現在の住民基本台帳人口は前年同期比で、わずかに減少に転じてしまいました。それでも今後人口増加を見込める条件を備えており、必ずしも減少し続けることはないと考えられます。

【人口予測】: いくつかの方法により、将来人口推計を行い10年後の人口を予測しました。その結果については、配付資料のとおりとなっておりますが基準をどこにおくかで様々な結果が得られました。推計の算定基準は違いますが国勢調査を基にした予測では、10年後は増加となり、住民基本台帳を基にした予測では減少となりました。

【検討事項】: 10年後の人口設定は、この総合発展計画を策定するうえで重要な課題となり、選択肢としては、人口増加・人口維持・人口減少の3択となっております。どの方向性で今後進めていくかにより、それに応じた計画フレーム・構想の検討が必要となることから、まずは、人口設定について、ご意見を頂き方向性を検討して行きたいと考えています。

#### < 将来人口等に対する意見（抜粋） >

- ・民間で考える人口は住民基本台帳の数ではない。もっと柔軟な考え方を。
- ・この町は住んでいて不自由を感じない。寒さを除いては、空港の存在が大きい。
- ・職種別の人口伸び率や分析が行なわれていれば、もっと人口は増えると思う。
- ・周辺市町村からの流入を含めて検討が必要。広域人口も含めて考えて行く必要がある。
- ・中標津町に来る前は根室市に住んでいたが、子どもを産みたくても産めない状況だった。それが現在の根室市の人口減に繋がっていると思う。
- ・退職者等の転入が見込まれ高齢化が進んでいくと思われるが、ただ人口が増加すればいいのか？そうすると医療費も増加する。その辺りも議論すべきでは。
- ・これまでは、人口増加をベースに計画を進めてきたが、これからは一概にそうはならない。
- ・微増でもいいので、増加を目指して行きたい。この計画に携わってきて良かったと思えるものになりたい。
- ・子育て支援はとても素晴らしいのに地元企業への就職先がわずかしかなく、町民アンケート(中高生)の中でも地元の就職先が少ないことを理由に若者が町外へ出て行ってしまう。もっとそこに力を入れては。
- ・移住のサポートをNPOで行なっているが、同じように仕事さえあれば移住したいと思っている方も多い。生き生き暮らせる人に来て欲しい。
- ・人口増加の要素はあるのだから、人口増加の方向に向けた考え方でいいと思う。
- ・大きな人口増加は難しいと思うが増加という方向に傾いている。
- ・今後、60歳以上が増えていくことは避けられない事実である。人口増加も望ましいが、質を高めることも発展と言うからには必要不可欠である。
- ・周辺市町村が衰退し中標津町だけが潤うことは、どうかと思う。
- ・若い人口をどのように増やすかを踏まえたうえで計画を進められればと思っている。
- ・町の体力がどれだけあるかしっかりと考慮すべき。

- ・現状維持を土台に考えては。人口ばかりでなく、もっと別な観点からの考えも必要。
- ・発展が望ましい。そのためには人口の増加を。増え方にもよるが…。
- ・これまでの意見には何の情熱も感じられない。もっと高い所に目標をおいてはどうか。

【意見総括】：10年後の人口設定に係る意見として、微増などの増加の方向性を示す意見が多数を占め、現状維持との声も少なからずあったが、減少への方向性を示す意見は無かった。今後、町の「発展」には質の向上や広域としてあり方など周辺市町村への配慮を伺わせる意見も多かった。

[第3回会議風景]



#### <質疑応答>

- Q 1 . 産業人口を押さえた資料などがあれば提示して欲しい。  
 A 1 . 次回までに用意します。
- Q 2 . 人口が増えている要因は何か？転入者か？  
 A 2 . 医療の充実が一つの要因だと思っている。転入者は確かに多いが転出者も多い状況であり、他に要因として考えられるのは、自然動態による出生率が死亡率を上回っていることがあげられます。
- Q 3 . 転入者がどこから来たのか？また、転出者はどこに行ったのか分かる資料が欲しい。  
 A 3 . 集計された資料があるか確認してみます。無い場合は調査が必要なもので、次回までに間に合わないかもしれません。
- Q 4 . 転勤族の出入りは押さえている？資料は？  
 A 4 . 担当課に状況を押さえている資料があるか確認してみます。
- Q 5 . 生活保護者の伸び率は昨年と比べてどうか？  
 A 5 . 担当課に資料があるか確認してみます。

#### (2) グループワーク「まちの目指す姿(キャッチコピー)」

【時間の都合上、次回のまちづくり町民会議の議題としました。】

#### (3) その他

- ・ 前回、グループワーク「理想の町は」の意見を集約しました。(P.6~P.10に掲載)
- ・ 次回、町民会議の日程は、下記の日時・場所で行ないます。

第4回 平成22年 2月24日(水) 総合文化会館(しるべっと)

## 15分でわかる中標津町の人口問題

1 , 計画策定作業で避けて通れない計画人口

2 , 国勢調査人口と住民基本台帳人口の違い

3 , 北海道新聞の記事について

4 , 人口予測は本当に可能か？

5 , 3種類の統計計算による将来人口予測

平成12年と平成17年の国勢調査から予測

過去5年間の住民登録による予測

過去3年間の住民登録による予測

6 , 平成32年の人口をどのように設定して、まちづくりを

議論していくかが重要な課題になります。

(選択する方針は三つ)

人口増 (人口を増加させるために新たな構想が必要)

人口維持 (現在と同じ程度の構想が必要)

人口減 (中標津移住計画など行わず、現在の構想を縮小)

# 中標津20年ぶり人口減少

## 昨年末で28人減 2万4152人 死者増え転入減

【中標津】町の2009年12月末現在の住民基本台帳人口は2万4152人で前年同期比28人減となり、JR中標津線が廃止となった1989年以来20年ぶりに減少へ転じた。1年間の死者が196人(前年比15人増)と過去20年で最も多く、転入者が1162人(同63人減)と同じく最少だったのが大きな要因。町幹部は「全国的な少子高齢化の中、町だけが増え続けるとは考えていない」と冷静に受け止めている。

(小沢弘和)

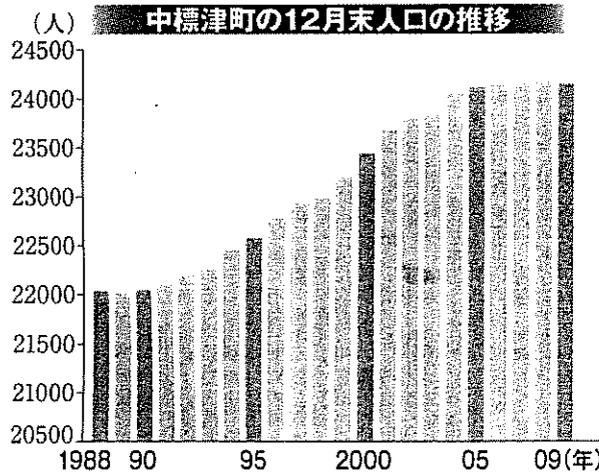
町は近年、出生数から死者数を引いた自然増が、転入者から転出者を引いた社会減を補う状況が続いていたが、09年は出生者数235人(同10人増)で39人の自然増に対し、転出が1239人(同15人減)で77人の社会減。海外からの帰国など「その他」の増減で10人増え、最終的に28人減となった。

町の人口は19年連続で増え続け、00年と01年は前年比240人余りも増えた。しかし、07年は17人増、08年は15人増と微増にとどまっていた。

町内は95年の中標津営林署統合や00年のNTT営業所廃止など官公庁や企業の撤退などがあつたものの、04年に複合商業施設「フレスポ中標津」進出や07年の雪印乳業の工場増設などが人口増を後押しした。

今後も減少ばかりではなく、中標津高等養護学校が10年度から2学級(16人)増を計画、生徒や教諭、その家族など「3年で70〜80人の増加が見込める(町幹部)」という好材料もある。

小林実町長は「必ずしも悲観的にとらえていない。社会情勢に合わせ、将来を見据えて



町民が住みやすいまちづくりを進めていく。また、定住促進のためにも観光振興で交流人口の増加を目指したい」と話している。厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が08年に発表した5年ごとの推計では、町の人口は10〜15年は2万4千人で横ばい、20年から減少し、35年に2万2千人と予想している。

## A班

### <心>

- ・ゆっくり走れるまち。
- ・かたくるしくないまち。
- ・まわりの町を大切にする町。
- ・これ以上「発展」させないまち。
- ・助け合える町。
- ・豊かさ。
- ・ペットと楽しめる町。ドッグラン。
- ・がまんの出来る人づくり。
- ・チャッチフレーズのいない町。
- ・かしこくなくても暮らせる町。
- ・ボーダーレスタウン。
- ・本当の意味での文化を高める。
- ・APPROACH22(22世紀のこと)。
- ・下から視線、上から視線。
- ・LANDING22

### <暮らし>

- ・コンパクトなまちづくり
- ・中心街の空き地利用。
- ・ゆっくりのんびり住める
- ・育む街。子、老、大人。
- ・田舎だけど都会。
- ・仲良し町内会。顔が見える町。

### <病>

- ・医療の充実。
- ・信頼の出来る医療の町。
- ・子供がいなくても安心できる老後を送れる施設。

### <産業>

- ・農業の安定
- ・産業発展、雇用の場、増大。

### <観光>

- ・観光客に対する情報センター。
- ・インバウンドの環境整備。
- ・おいしい空気を実感できる町。
- ・緑の自然、白の自然、人の自然

### <歴史>

- ・昔の生活をもう一度
- ・100年後も住める街
- ・歴史から見る町づくり
- ・苦しさを覚えている町
- ・開拓したばかりのまち
- ・フレッシュな歴史のまち
- ・自立更生
- ・熱だ、まことだ、真剣だ

## B班

### <子供>

- ・子供だけで安心して遊べる公園がある。

### <施設>

- ・低負担、高サービスの介護。

### <酪農>

- ・酪農と町民が豊かな街。
- ・日本の食糧生産基地となるような、農業、酪農業を樹立する町にしたい。

### <町内会>

- ・手をつないでいける町。
- ・思い合うことができる。
- ・中標津市街地の住民が、町内会活動を理解して、町内会に加入する町にしていきたい。
- ・町内会活動を若い人達にバトンタッチ。

### <自然>

- ・水と緑と空気が在る街。
- ・すばらしい素材(自然)を活かした町。
- ・緑あふれる町。

### <産業・観光>

- ・北方領土へこの空港から、飛行機を乗り入れること。
- ・たくさんの方が集まる交流の町。
- ・開陽台にスキー場を作り、観光客の誘致。

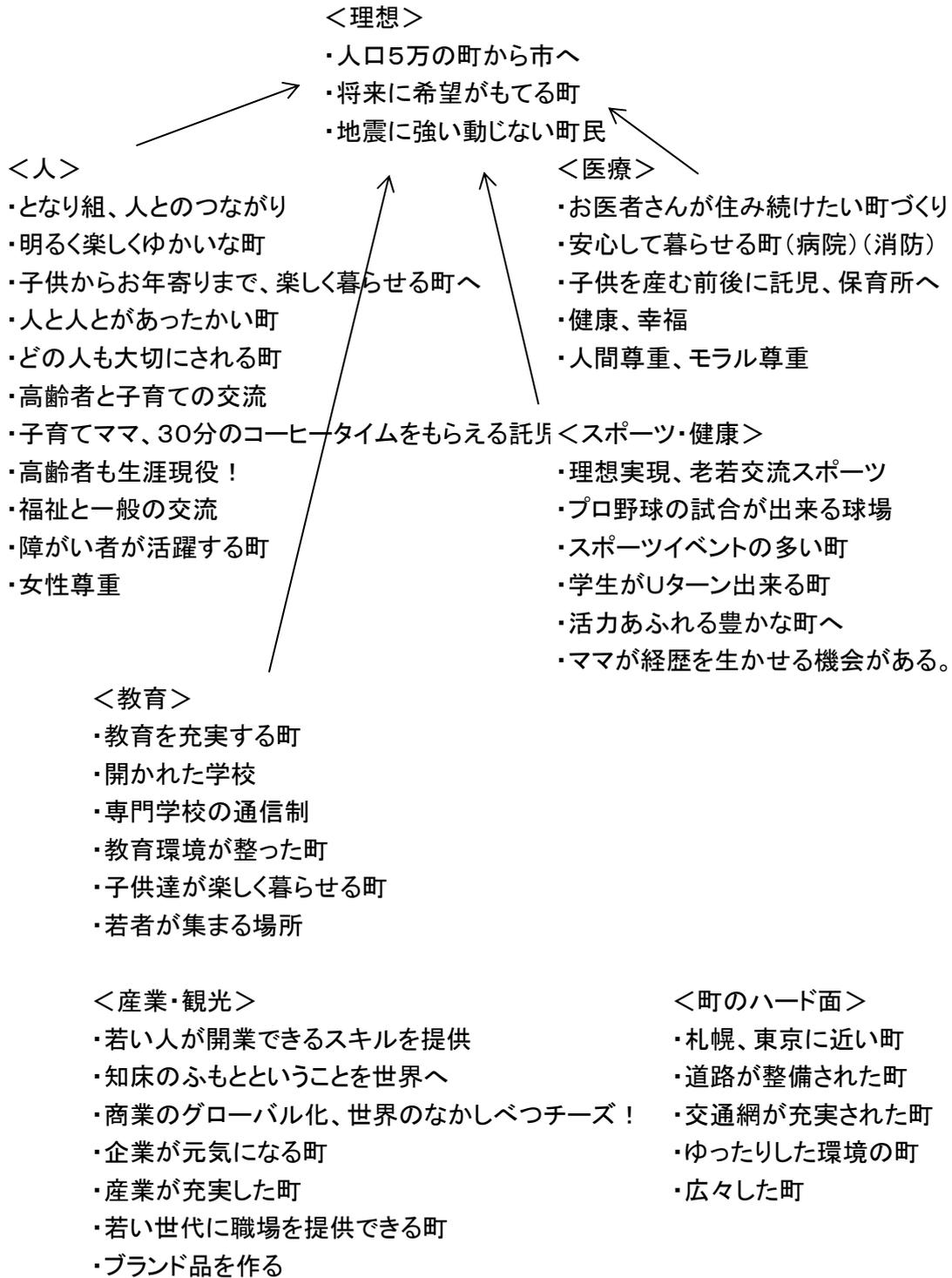
### <町づくり>

- ・歩道の整備(車イスでも)。
- ・安心・安全な町づくり。
- ・町内交通の利便向上。
- ・心と身体が豊かな街。
- ・力を出しつくせる町。
- ・チャレンジ精神を応援できる人と人とのつながり。
- ・住みよい町。

### <教育・文化>

- ・ボランティアをしたい人への広報の充実。
- ・芸術文化の後継者育成。
- ・昔を伝えあえる風土。
- ・学校教育の文化活動と地域の文化の共有。
- ・芸術・芸能の中核指導者育成。
- ・高齢者の生きがい作り(サークルの充実)。
- ・他人の子供をしかれる人がいる。
- ・世代をこえて交流できる町づくり。

# C班



## ■ 0. 全体的なこと、理想など

- ・人口5万の町から市へ
- ・将来に希望がもてる町
- ・ゆっくり走れるまち。
- ・かたくるしくないまち。
- ・まわりの町を大切にす町。
- ・これ以上「発展」させないまち。
- ・ボーダーレスタウン。
- ・本当の意味での文化を高める。
- ・APPROACH22(22世紀のこと)。
- ・下から視線、上から視線。
- ・LANDING22
- ・となり組、人とのつながり
- ・明るく楽しくゆかいな町
- ・子供からお年寄りまで、楽しく暮らせる町へ
- ・チャレンジ精神を応援できる人と人とのつながり。
- ・助け合える町。
- ・豊かさ。
- ・がまんの出来る人づくり。
- ・チャッチフレーズのいない町。
- ・かしこくなくても暮らせる町。
- ・ゆっくりのんびり住める
- ・育む街。子、老、大人。
- ・田舎だけど都会。
- ・心と身体が豊かな街。
- ・力を出しつくせる町。
- ・住みよい町。
- ・人と人があったかい町
- ・どの人も大切にされる町

## ■ 1. 行財政分野（行政運営、財政、協働、自治、広域連携など）

- ・仲よし町内会。顔が見える町。
- ・手をつないでいける町。
- ・中標津市街地の住民が、町内会活動を理解して、町内会に加入する町にしていきたい。
- ・思い合うことができる。
- ・町内会活動を若い人達にバトンタッチ。

## ■ 2. 健康・福祉分野（高齢者福祉、障がい者福祉、医療、子育て支援など）

- ・医療の充実。
- ・信頼の出来る医療の町。
- ・低負担、高サービスの介護。
- ・他人の子供をしかれる人がいる。
- ・子供だけで安心して遊べる公園がある。
- ・世代をこえて交流できる町づくり。
- ・安心して暮らせる町(病院)
- ・子供を産む前後に託児、保育所へ
- ・子供がいなくても安心できる老後を送れる施設。
- ・お医者さんが住み続けたい町づくり
- ・子育てママ、30分のコーヒータイムをもらえる託児
- ・高齢者と子育ての交流
- ・高齢者も生涯現役！
- ・福祉と一般の交流
- ・障がい者が活躍する町
- ・女性尊重
- ・健康、幸福
- ・人間尊重、モラル尊重

### ■ 3. 経済・産業分野（農業、酪農業、商業、観光など）

- ・中心街の空き地利用。
- ・農業の安定
- ・産業発展、雇用の場、増大。
- ・酪農と町民が豊かな街。
- ・たくさんの人が集まる交流の町。
- ・学生がUターン出来る町
- ・活力あふれる豊かな町へ
- ・企業が元気になる町
- ・産業が充実した町
- ・北方領土へここの空港から、飛行機を乗り入れること。
- ・開陽台にスキー場を作り、観光客の誘致。
- ・日本の食糧生産基地となるような、農業、酪農業を樹立する町にしたい。
- ・商業のグローバル化、世界のなかしべつチーズ！
- ・観光客に対する情報センター。
- ・インバウンドの環境整備。
- ・おいしい空気を実感できる町。
- ・緑の自然、白の自然、人の自然
- ・ママが経歴を生かせる機会がある。
- ・若い人が開業できるスキルを提供
- ・知床のふもとということの世界へ
- ・若い世代に職場を提供できる町
- ・ブランド品を作る

### ■ 4. 生活環境基盤（安全・安心、道路、交通、自然、ごみ問題など）

- ・札幌、東京に近い町
- ・道路が整備された町
- ・交通網が充実された町
- ・ゆったりした環境の町
- ・広々した町
- ・歩道の整備（車イスでも）。
- ・安心・安全な町づくり。
- ・町内交通の利便向上。
- ・コンパクトなまちづくり
- ・水と緑と空気が在る街。
- ・すばらしい素材（自然）を活かした町。
- ・緑あふれる町。
- ・ペットと楽しめる町。ドッグラン。
- ・地震に強い動じない町民
- ・安心して暮らせる町（消防）

### ■ 5. 教育・文化分野（教育、歴史、文化、スポーツなど）

- ・昔の生活をもう一度
- ・100年後も住める街
- ・歴史から見る町づくり
- ・自立更生
- ・熱だ、まことだ、真剣だ
- ・芸術文化の後継者育成。
- ・昔を伝えあえる風土。
- ・専門学校の通信制
- ・教育環境が整った町
- ・学校教育の文化活動と地域の文化の共有。
- ・高齢者の生きがい作り（サークルの充実）。
- ・ボランティアをしたい人への広報の充実。
- ・プロ野球の試合が出来る球場
- ・スポーツイベントの多い町
- ・苦しさを覚えている町
- ・開拓したばかりのまち
- ・フレッシュな歴史のまち
- ・芸術・芸能の中核指導者育成。
- ・理想実現、老若交流スポーツ
- ・教育を充実する町
- ・開かれた学校
- ・子供達が楽しく暮らせる町
- ・若者が集まる場所